

# 4大天然繊維でオーガニック

## 「東北コットンPJ」にも貢献

### 大正紡績

開することになる。

オーガニックコットンを中心環境に優しいモノ作りを進める大正紡績。このほど、独自の

のシルクとリネンの混紡によるクールビス素材や、オーガニックのウール・綿混紡によるウオームビス素材など。

綿やリネン、ウール、シルクなど天然繊維に本来、吸湿発熱性や保温性、紫外線吸収など

原料を確保することに成功した。すでにオーガニック原料を確保しているで、ウールと複合すること、綿、ウール、リネンと合わせて4大天然繊維すべてをオーガニック素材を展

のシルクとリネンの混紡によるクールビス素材や、オーガニックのウール・綿混紡によるウオームビス素材など。

綿やリネン、ウール、シルクなど天然繊維に本来、吸湿発熱性や保温性、紫外線吸収など



「東北コットンプロジェクト」でも中心的役割を担う

加工「エコ・ウォッシュ」も積極的に活用している。このほかリサイクルコットン（落ち綿）の再利用も積極的に進める考えた。

ここで環境配慮と両立する繊維産業のあり方を指すのが大正紡績の基本姿勢だ。  
また、東日本大震災による津波で塩害に苦しむ東北地方の農家を綿花栽培で支援する「東北コットンプロジェクト」でも紡績を担当するなど積極的に協力。このほどタイからシンク機を調達し、綿花収穫後の備えた準備を進める。野田社長は「事業というよりも社会貢献として取り組んでいきたい」と強調する。